

海外安全対策情報（平成29年1月～3月期）

1 社会・治安情勢

2017年1～3月期の犯罪件数は前年同比でやや減少した。ただ、引き続き、依然窃盗の件数が一番多いことから、西豪州警察は、常に身の周りに注意して貴重品の管理を行うことや、車を駐車する際は照明が多く明るく、利用者の多い場所を利用すると共に車内に貴重品を置き放しにしないこと等の注意喚起を行っており、これらを心がけることが必要である。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 西豪州警察当局が発表した1～3月期の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は72,605件で、前年同比で6.08%減少している。また、パース首都圏で西豪州全体の73.41%の犯罪が発生している状況に大きな変化はない。

(2) 2017年1～3月の主な犯罪発生件数内訳

(ア) 西豪州全体（合計72,605件、前年同比▲6.08%）

①家庭内暴行	5,118件	（前年比 ▲14.07%）
②家庭外の暴行	3,222件	（同 ▲2.04%）
③脅迫	1,987件	（同 ▲4.65%）
④住居侵入窃盗	7,009件	（同 ▲2.75%）
⑤殺人	19件	（同 +18.75%）
⑥窃盗	22,299件	（同 ▲6.81%）
⑦強姦	908件	（同 +31.02%）
⑧麻薬	9,268件	（同 +0.44%）
⑨詐欺	4,071件	（同 ▲25.67%）

(イ) パース首都圏（合計53,301件、前年同比▲9.78%）

①家庭内暴行	3,146件	（前年比 ▲24.97%）
②家庭外の暴行	2,346件	（同 ▲4.48%）
③脅迫	1,335件	（同 ▲14.59%）
④住居侵入窃盗	5,292件	（同 ▲3.52%）
⑤殺人	12件	（同 +20.00%）
⑥窃盗	18,190件	（同 ▲8.85%）
⑦強姦	632件	（同 +12.06%）
⑧麻薬	6,525件	（同 ▲0.34%）
⑨詐欺	2,902件	（同 ▲33.53%）

(3) 邦人被害事案

3月20日、旅行者がキングスパークで車上荒らしに遭い、旅券、衣服、現金、タブレット端末、パソコンを盗られ、帰国のための渡航書を発給した。

(4) その他特筆すべき案件

1月10日、パース郊外で発砲事件が発生。また同日夕刻市内中心部で刺殺事件が発生。邦人が被害者とはなっていないが、日本人会に注意喚起を流した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

現時点で、当地でのテロリスト・グループ等の活動に関する具体的な情報には接していないが、テロに関する一般的な警戒は必要である。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特異な事件は報告されていない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当地では一般的に対日感情は良好であり、現在までのところ日本企業の安全の脅威になる問題は認められない。